

胎児心エコー勉強会 ～先天性心疾患のスクリーニングと診断～

全国に開かれたオンラインセミナー

胎児心エコー技術の普及を目指して、2018年より胎児心エコー勉強会を行っています。希望施設を募って、定期的にオンラインで胎児心疾患の動画解説を配信しています。

勉強会で発信していること

典型的でない正常画像を提示して“正常と認識する考え方”を習得することと、新生児期～乳児期早期に手術をしないと救命できない心臓を発見することが第一の目的です。

各疾患編では、疾患名を特定できなくとも“異常心臓”として新生児期に手術の必要な複雑先天性心疾患をルールインする総論的な知恵をお伝えしています。

動画のオンライン配信

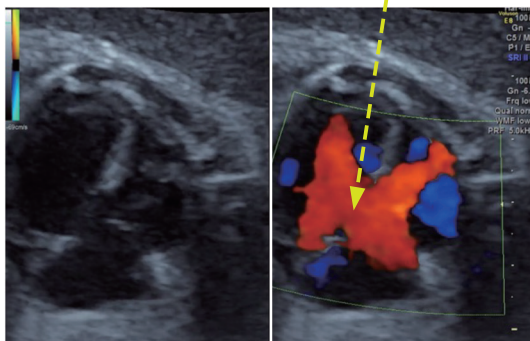
配信は毎週月・火・水曜の17～18時台に実施。1回約40分です。約2ヵ月ごとに新しいテーマを説明しています。現在95施設が参加しています(1回につき2～15施設)。今までに延べ400回近く開催しています。

これまでに配信したのは27テーマです。胎児心エコーの判読だけではなく、心疾患のスクリーニングに必要な知識・知恵の解説も行っています。

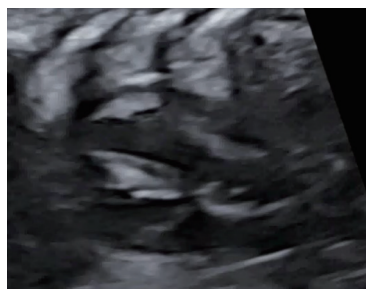
勉強会の対象職種は、産科医・小児科医・臨床検査技師です。略語を避けるなど平易で理解しやすい内容に徹しています。参加費は不要で、所属施設も不問です。施設単位ではなく個人での参加も可能です。ご関心の方は担当の小児科・浜道裕二医師までご連絡ください。

疾患のポイント例

バタフライサイン



完全房室中隔欠損の拡張期に観察されるバタフライサイン(赤色)



心室から起始した大血管が交差することなく並列走行しているため、大血管転位型先天性心疾患が存在していると判断できる

表 勉強会のタイトルから(全27コース+27テーマの一部)

| | |
|--------------|--------------------------------|
| 基礎1 | 心尖部の向きで左右心室を簡便に同定する |
| 基礎2 | 4chのパルスドップラーで総肺静脈還流異常をスクリーニング |
| 基礎3 | 左右流出路の描出は異常心臓発見の早道 |
| 基礎4 | ファロー四徴は大動脈騎乗がfirst、右室流出路はゆっくりと |
| 基礎5 | 房室中隔欠損は拡張期の流入カラーで気がつく |
| 基礎6 | “小さな左室”は重症を匂わせる、偽陽性を恐れずに |
| 基礎7 | 3VV・3VTVの正常パターンを増やす |
| 基礎8 | 大動脈縮窄は3VV・3VTVでスクリーニングできる |
| 基礎9 | 肺動脈が見えない、は重症心疾患の兆し |
| 他18コース+18テーマ | |